

# 特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

## 2021 年度事業報告

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

### 目次

I	年間の活動まとめ	3
II	事業	4
1.	伝える ～情報発信支援事業～	4
(1)	季刊ゆるるの発行	4
(2)	河北新報夕刊「志民の輪」執筆、監修	5
2.	育てる ～人材育成支援事業～	8
(1)	NPO で高校生の夏ボラ体験 2021	8
(2)	2021 年度 CSO ラーニング制度	10
3.	応援する ～組織基盤強化支援事業～	11
(1)	みやぎ NPO 事務支援センター	11
(2)	講師等の派遣	12
(3)	令和 3 年度宮城県 NPO 等の絆力を活かした復興支援事業	13
4.	協働する ～拠点運営支援事業～	16
(1)	宮城県民間非営利活動プラザ（みやぎ NPO プラザ）の管理運営	16
5.	つなぐ ～NPO 等連携事業～	23
(1)	真如苑第 7 回「みやぎの居場所づくり助成」事業の事務局運営	23
(2)	令和 3 年度 NPO 支援施設フォローアップ事業委託業務（宮城県からの委託事業）	23
(3)	みやぎ NPO 情報公開システム運用協議会事務局業務	26
(4)	令和 3 年度宮城県内における被災者支援コーディネート事業（復興庁事業）	26
6.	その他の活動	27
(1)	NPO の基盤整備に関する書籍類の紹介及び販売	27
(2)	宮城県 NPO 等による心の復興支援事業（受益者アンケート業務委託）	28
(3)	外部との連携	28
III	組織運営	30
(1)	総会の開催	30
(2)	理事会の開催	30
(3)	会議	30
(4)	会員	31

(5)	組織の広報及び理解促進 .....	31
(6)	事務局員体制 (2022年3月31日現在) .....	31
(7)	職員研修 .....	31
(8)	ボランティア .....	33
(9)	寄付 .....	33

## I 年間の活動まとめ

新型コロナウイルス感染症に関する認識も広がり、対策次第で NPO も活動が再開できるようになった一年であった。杜の伝言板ゆるるも、コロナ対策をしつつ、平常運転に近い事業体制になった。そこで、年間の活動を振り返り、概要を示したい。

2005年4月より担ってきた「みやぎ NPO プラザ」の指定管理者として第5期目の最終年度（3年目）となった。第5期は1年目の終盤から継続して新型コロナウイルス感染の拡大防止に努めることとなった。それでも、地域の支援センターとしての相談事業や情報発信事業などの活動を通じて、NPOの基盤強化や県民の市民活動への参加を促進することに貢献できた。また、第6期目に申請を行い選定されたため、引き続き宮城県の支援センターとして、NPOのニーズに対応できる情報発信と基盤強化につながる支援に努めていきたい。

「NPOで高校生の夏ボラ体験」は、杜の伝言板ゆるるのミッションにもとづく主力事業であり、最も長い継続事業である。新型コロナウイルス感染症の影響や対策方法に不安が多くあった2020年度は、中止することになったが、2021年度は規模を縮小して実施することにした。とはいえ、コロナ禍で本当に高校生が集まるだろうか、リスク対応は十分だろうかと悩みながら決断したところでもあった。ただ、そんな心配を余所に、募集人数を大幅に上回る応募があり、多くの高校生に断りの連絡を入れることになった。高校生の参加意欲や実際の活動については、是非、体験談集を見ていただきたい。

その他、2021年度も河北新報の「志民の輪」を通じて情報提供を行った。多くのNPOの協力を得て取材を行い、有益な情報を市民の方々に提供することができた。また、真如苑の「みやぎの居場所づくり助成」では、居場所づくりをする団体に助成を行うことができた。宮城県委託事業の絆力を活かした震災復興支援事業では、調査や交流会を県内のNPOとの協働によって実現させることができた。理事が中心となり執筆する「季刊ゆるる」は、インターン学生の協力を得て編集し、配布した。

以上のように、数多くの企業、団体、個人の協力を得て事業を行い、市民活動およびNPOの発展に尽力した一年であった。

## Ⅱ 事業

### 1. 伝える ～情報発信支援事業～

#### (1) 季刊ゆるるの発行

理事を中心に原稿を執筆し、フリーペーパー「季刊ゆるる」を年に4回発行する。

##### 目的 ▶

市民活動の現状や課題、組織運営における考え方やヒント、学術研究にもとづく知見を提供する。

##### 活動実績 ▶

No.6 2021 春夏号（6月30日）、No.7 2021 秋号（10月28日）を発刊した。

仕様：A4版フルカラー 8頁（No.6は春夏合併号につき16頁）

発行部数：毎号1,000部

配布先：法人正会員、賛助会員、県内公共施設、県内外のNPO支援センター等

掲載内容：

	執筆者	記事
No.6 2021春夏号	石田 祐	対面のチカラ
	岡田 彩	コロナ禍のボランティア活動：万が一への対応を考える
	渡邊 桂子	市民活動を考える：法改正と事業報告について
	高浦 康有	NPOを取り巻く経営環境③ 東北は生きやすい社会であるか？
		NPOを取り巻く経営環境④ ブータン発！幸福度の経営指標
	波多野 卓司	【人と経営 第6回】理念は底から光る
	堀川 晴代	みやぎNPOプラザ：Withコロナの2020年を振り返って
	熊谷 智美	【セルフケア 第6回】自分の世界を輝かせる何かを手に入れよう！
インターン生	ゆるるインターン生紹介	
	真壁 さおり	【お酒上手 第6回】「振り返り酒」
No.7 2021秋号	石田 祐	よくよく考えたいこと～安全と安心～
	岡田 彩	オンライン・ボランティア体験記 「やりがい」と「報酬」を考える
	渡邊 桂子	市民活動を考える
	熊谷 智美	【セルフケア 第7回】まわりの人にも、自分自身にもご機嫌な言葉を選んでみませんか
	高浦 康有	NPOを取り巻く経営環境⑤ 従業員の幸福度を高めるマネジメント
	波多野 卓司	【人と経営 第7回】月のように照らすもの
	石田 祐	NPOと人材～自分の経験を整理する～
	堀川 晴代	2021 SUMMER/AUTUMNボランティア促進キャンペーンへの挑戦！
	真壁 さおり	【お酒上手 第7回】「出張酒」
インターン生	ここまでのインターンを通して	

事業成果 ▶

理事のそれぞれの専門にもとづき、多くのメッセージを社会に発信することができた。また、インターンの協力を得て、編集作業を行い、発信することができた。

(2) 河北新報夕刊「志民の輪」執筆、監修

2019年4月1日から仙台市を中心として配達されている河北新報夕刊月曜版に「志民の輪」というコーナー名で連載が始まり、せんだい・みやぎ NPO センターと交互に隔週で担当（祝日除く）している。

コーナーを4つに分け、「NPOの杜」では多様な団体とつながりながら地域課題の解決に取り組んでいるNPOの姿を、「ウォロな世界」は、さまざまな思いを胸にNPOで活躍するボランティアの姿を、また「とびっく」では、地域や社会で話題となっている、または知ってほしいNPOを取り巻く情報などを紹介した。また、「information」ではみやぎNPO情報ネットWebサイトで公開されている助成金やイベントなどの情報を掲載した。

目的 ▶

NPOの紹介を通じて市民のNPOに対する関心を高め、市民活動への参加を促す。

活動実績 ▶

掲載一覧：2021年4月12日～2022年3月28日 計23回

2021年	NPOの杜		ウォロな世界		とびっく	Info.
発刊日	見出し	掲載団体	見出し	掲載団体（個人）	見出し	件数
4月12日	自由に遊び、学ぶ拠点に	子どもの居場所〇〇（一般社団法人プレーワーカーズ）	食事を支えて自らも成長	和ごころコミュニケーションズ 半沢 瑞紀さん	連帯育む会場の復活願う	3
4月26日	自然と地域つながりまちづくり仲間と共に養蜂に挑戦	NPO法人SCR	困窮の外国人労働者支援	NPO法人POSSE仙台支部 小泉 尚也さん	町への思い育むESD	3
5月17日	障害者の自己表現支援	一般社団法人アート・インクルージョン	みんなで支え、脱・孤育て	NPO法人子育て応援団ゆうわ 山崎 洋子さん	住民間の連携沿岸部で低く	2
5月31日	子どもの居場所を提供	一般社団法人フリースペース道	選手支え社会への一歩を	NPO法人スペシャルオリンピックス日本・宮城 小森 佳代さん	日本の幸福度北欧と対照的	3
6月14日	母子安らぐ場所再出発	ママンココン運営委員会	住民と関わり孤立防止へ	石巻復興きずな新聞舎 大澤 紘貴さん	カーシェアで市民助け合い	2
6月28日	共につくる子育て環境	NPO法人ベビースマイル石巻	集う親子を温かく見守る	ふとうこうカフェinせんだいみやぎ 熊谷 豊子さん	エッセンシャルワーカーに配慮を	2

2021年	NPOの杜		ウォロな世界		とびっく	Info.
発刊日	見出し	掲載団体	見出し	掲載団体(個人)	見出し	件数
7月12日	プラごみ問題を身近に	市民活動団体メディアデザイン	一緒に遊んで社会性を育む	NPO法人放課後こどもクラブBremen 阿部 遥さん、加川 夏妃さん	荒川区民の幸福実感度	2
7月26日	鑑賞や参画で感動共有	せんだい杜の子ども劇場	サロン運営交流も楽しむ	NPO法人シニアのための市民ネットワーク 仙台 及川 寿恵子さん、新井 幹枝さん	デンマークらしさ 交通にも	2
8月16日	誰もが成長できる場に	NPO法人ほっぶの森	一緒に回り旅をサポート	宮城県善意通訳者の会 佐々 裕子さん	幸福感の低さ 働き方に要因	3
8月30日	NPOで高校生の夏ボラ体験2021特集(上)	NPO法人地域生活支援オレンジねっと 名取高3年 前野 大地さん、名取高2年 長谷川 紗月さん、常盤木学園高3年 栗野 ひよりさん NPO法人子育て応援団ゆうわ 常盤木学園高3年 吉田 愛桜さん NPO法人いしのまきNPOセンター 石巻好文館高3年 佐々木 快斗さん			多様性重視 若者にも広がり	3
9月13日	NPOで高校生の夏ボラ体験2021特集(下)	NPO法人萌友 名取高3年 青柳 風雅さん、常盤木学園高3年 石井 玲蘭さん、常盤木学園高3年 八端 亜美さん NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ 宮城一高2年 横山 響さん 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる 多賀城高3年 岡本 心さん、仙台三桜高3年 富田 愛乃さん			若者の投票率向上へ工夫を	3
10月4日	女性目線で地域づくり	NPO法人ウィメンズアイ	復興ニュース発行支える	NPO法人高齢者サポートチームしおたが 千葉 軍司さん	援助意識 地域貢献にも	3
10月18日	正しい理解 浸透目指す	日本てんかん協会宮城県支部	子どもと対局 成長楽しみ	碁ランティア 遠藤 未さん	東京パラでの気づき 忘れずに	2
11月1日	苦楽共有 コロナ下こそ	太白区育児サークル応援隊 たい子さん	子どもの成長 花と見守る	認定NPO法人こども∞感ばにー 菅野 美佐子さん	課題解決担う NPOに期待	3
11月15日	障害児 地域と共に成長	多機能型事業所「いっば」 (NPO法人水梨かふえ)	多様な子と向き合い学ぶ	放課後デイサービスぶらう(NPO法人燈の会) 福島 美羽さん	NPO代表 多くは高齢男性	2
11月29日	寄り添う災害支援 啓発	NPO法人ワンファミリー仙台	相談者が行動起こす力に	公益社団法人日本駆け込み寺仙台支部 吉田 計さん	助け合いが生まれる日本へ	3
12月13日	悩み共有 飼い主支える	NPO仙台わんこ	専門生かし子どもの力に	NPO法人STORIA 紺野 芽生さん、池田 尚弘さん	気候変動 若者の提言に耳を	2

2021年	NPOの杜		ウォロな世界		とびっく	Info.
発刊日	見出し	掲載団体	見出し	掲載団体（個人）	見出し	件数
12月27日	地域連携ひとり親支援	いわぬまこども食堂プラス	ブラジルの食文化伝える	国際交流ともだちin名取 鶴田 ミリアン 由美子さん	楽しんで思いやり示す	2
1月24日	新たな価値創る拠点に	みやぎNPOプラザ20周年	支え合いプログラミング	峠の分校 高津 尚子さん	右往左往しても新しさを	2
2月7日	誰もが住みよい社会に	みやぎ化学物質過敏症の会 ～びゅあい～	不登校生徒の学び支える	NPO法人ミヤギユースセンター 増田 裕希さん	富の格差 若者の関心高く	3
2月21日	「食」と「職」支え続ける	一般社団法人ワタマスマイル	「やってみたい」次々企画	一般社団法人気仙沼あそびーばーの会 増田 真弓さん	就活に企業の社会貢献重視	2
3月7日	住民が主役思いを形に	NPO法人亘理いちごっこ	安全配慮し居場所づくり	NPO法人にじいろクレヨン 宍戸 誠さん	意思決定支援 大きな効果	3
3月28日	対話重視の姿勢を共有	宮城県絆力事業 パネルディスカッション 成果報告会及び交流会	地域歩いて魅力を伝える	宮城野原案内人の会 星義男さん、山田孝子さん、吉田勇さん	心理的安全性 浸透に期待	3

## 事業成果 ▶

今年度も引き続き、多様なテーマで活動する NPO やボランティア活動取材させていただき、河北新報社ご担当者のご協力のもと、紙面で紹介することができた。多世代交流の場づくり、生活困窮世帯支援、孤立防止の取り組み、不登校、障がい者支援、女性の視点を活かした地域づくりなど、ややもすれば埋もれてしまう地域の声なき声に耳を傾け、個別の課題を地域・社会全体の課題として考え、取り組みを続けている NPO の地道な活動の様子を伝えることができた。

多くの団体は日々の活動に邁進しているため、その成果や活動による地域の変化などを発信することが難しい状況にある。賛同や参画につながる一助となるよう心掛けながら、より多くの人に活動の社会的意義を伝えた。

「NPO の杜」は河北新報オンラインニュース

<https://www.kahoku.co.jp/special/spe1179/index.html>で見られる。

## 2. 育てる ～人材育成支援事業～

### (1) NPO で高校生の夏ボラ体験 2021

県内の高校生が夏休み期間に NPO でボランティア体験をする。体験前には「事前学習会」へ必ず参加し、NPO を正しく理解する講座の受講および受け入れ団体との顔合わせを行う。また、参加者は体験終了後にボランティア活動の感想をまとめた体験談を提出し、「体験談集」として参加者、高校及び関係者へ無料で配布する。

#### 目的 ▶

地域の次世代の担い手となる高校生が、地域に寄り添い課題を解決するため日々活動している NPO でボランティア体験をすることで NPO を知り、今地域が抱えている課題に気付く機会とする。また、NPO 側においては、地域の課題を自らの力で解決しようとする様々な人々が活動していることを知らせ、次世代を担う青少年層に自分たちの住むところのことは自ら担っていくこと、活動の意義に気付いてもらう機会を作る。

共催：かほく「108」クラブ

協賛：真如苑

後援：宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、石巻市教育委員会、名取市教育委員会、大河原町教育委員会

#### 活動実績 ▶

体験期間	2021年7月22日（木）～2021年8月21日（土）
事前学習会	2021年7月21日（水）、2021年7月22日（木）
受入団体数	16団体（仙台：11団体、石巻：5団体）
募集人数	60名
申込総数	151名（27校）
体験者数	74名（17校）
体験談集の発行	300部

#### 事業成果 ▶

ボランティア参加前の事前学習会をオンラインで実施したり、募集人数を 2019 年度から 40 名近く制限したりし、感染防止に配慮しながら事業を行った。結果的に、募集人数の 2 倍以上となる 151 名の高校生から応募があり、仙台・石巻圏域の 74 名の高校生が NPO でボランティアを行った。



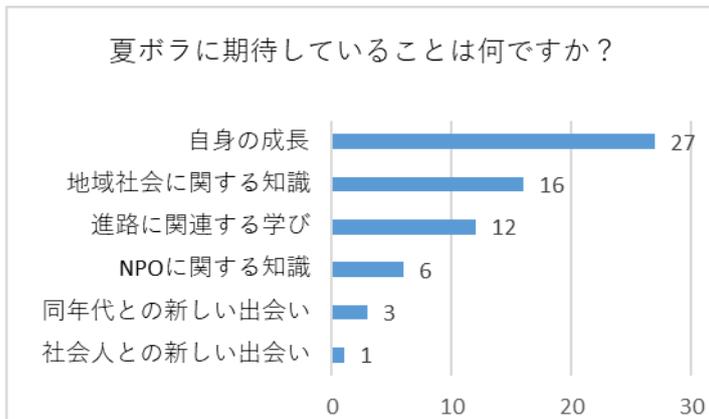
● 団体の活動分野に関する座学を受ける高校生



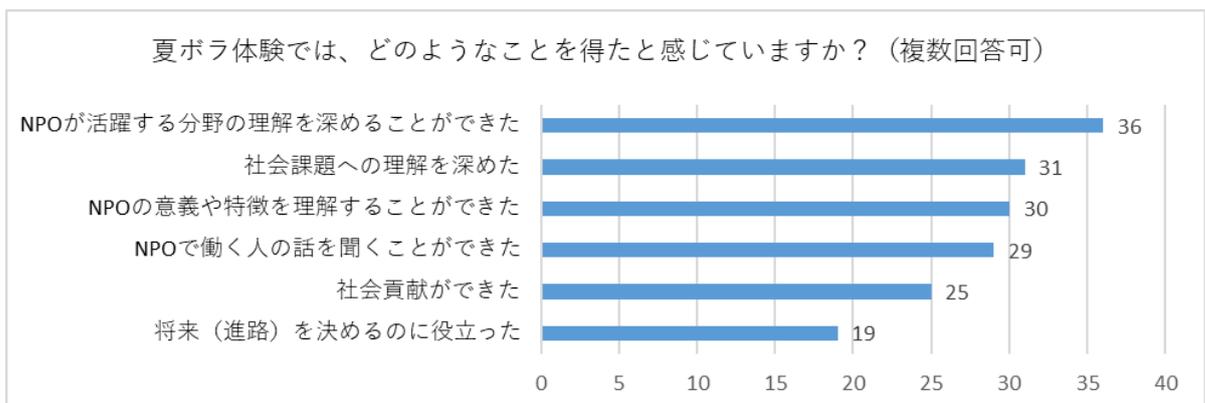
● 子どもと遊ぶ高校生

### 【参加高校生へのアンケート結果】

#### ■ 事前学習会後のアンケート（65名が回答）



#### ■ 夏ボラ体験後のアンケート（56名が回答）



上記アンケートでは、参加前は「自身の成長」が本プログラムへの参加理由として最も多かった。参加後のアンケートでは「NPOが活動する分野の理解を深めることができた」が

得たこととして最も多く挙げられた。高校生が本プログラムを通じて NPO の意義、NPO の活動分野、地域の課題に対する理解を深めたことを伺うことができた。

(2) 2021 年度 CSO ラーニング制度

公益財団法人 SOMPO 環境財団が実施している大学生・大学院向けのインターンプログラム。インターン生を受け入れ、NPO の取材・記事執筆や SNS を用いた若者に対する NPO の周知活動、および各事業の運営補助の活動を行う。

目的 ▶

大学生にインターン活動を通じて中間支援分野の役割と機能を理解してもらおうと同時に、他団体のサポートや情報収集・発信を通じて NPO への理解を深める機会とする。

活動実績 ▶

6 月から 2022 年 1 月にかけて、宮城大学の学生 2 名が各 200 時間の活動に従事した。

取材・執筆 (河北新報「志民の輪」)	11月15日	障害児 地域と共に成長
	12月13日	専門生か子どもに
SNSでのNPO解説 (Instagram投稿)	第1回	杜の伝言板ゆるるって何者？
	第2回	インターン生自己紹介
	第3回	NPO×インスタ？
	第4回	NPOの必要性
	第5回	NPOとNGOのちがい
	第6回	どんな人を助けているの？
	第7回	助けるだけじゃない
	第8回	非営利のホント
	第9回	NPOのお金のホント
	第10回	学生インタビュー NPOとの出会い編
	第11回	学生インタビュー NPOの存在編
	第12回	学生インタビュー 学生団体立ち上げ編
	第13回	NPOの活動分野と思い
	第14回	NPOの活動に参加する
	第15回	プロボノって何？
	第16回	活動分野別のボランティア内容
	第17回	都道府県別に見るNPO (1)
	第18回	都道府県別に見るNPO (2)
	第19回	日本とアメリカのNPO
	第20回	アメリカにおけるNPOの歴史
	第21回	認定制度とは？

	第22回	情報公開制度①
	第23回	情報公開制度②
	第24回	所轄庁って何？
	第25回	NPOに関するQ&A前編
	第26回	NPOに関するQ&A後編
	第27回	ごあいさつ
事業運営補助	7月21・22日	NPOで高校生の夏ボラプログラム 事前学習会
	11月27・28日	市民セクター全国会議
	1月26・31日	絆力石巻交流会、気仙沼・南三陸交流会

#### 事業成果 ▶

記事執筆やイベントの運営補助を通じて、県内で活躍するNPO団体やNPOの仕組みについて知ってもらうことができ、団体との連絡調整や取材を大学生主体で行うことができた。さらに、大学生視点でNPOを解説する取り組みは、NPOをよく知らない層に対してNPOに興味を持つきっかけ作りができた。

### 3. 応援する ～組織基盤強化支援事業～

#### (1) みやぎNPO事務支援センター

宮城県内のNPO法人等からの依頼をもとに、会計サポーターの派遣を中心に個別相談、実務指導、経理事務代行、特別サポートの中から必要な会計支援を行う。

#### 目的 ▶

団体の会計基盤強化により外部からの信頼や評価を得ることで、助成金獲得や寄附金増加等が期待できる。団体が継続的かつ健全な運営を行えるよう会計の側面から支援する。

#### 活動実績 ▶

##### ① 事務代行及び特別サポート

記帳代行や領収証・請求書整理のほか、特別サポートとして活動決算書作成や会計ソフトの初期設定を行った。

【2021年度実績】経理事務代行登録団体数：1団体

特別サポート（決算書作成）：4団体

対応サポーター：3名

##### ② 会計サポーター派遣

会計やお金の管理、仕訳や帳簿の作成に関するアドバイス、会計ソフトの導入支援、活動

計算書、注記、貸借対照表等の財務諸表作成のサポート等を行った。

【2021 年度実績】派遣団体数：6 団体

派遣回数：37 回

派遣サポーター：2 名

### ③ 相談

団体からの問い合わせをもとに Zoom やメールで会計相談を行った。

【2021 年度実績】相談：4 件

(株)エス・ビジネスサポートと連携し、職員研修を下記の通り実施した。

実施日	研修内容	参加人数
11月2日	会計基礎講座 質疑応答	会計サポーター2名、理事2名、事務局スタッフ2名
12月6日	財務諸表分析 質疑応答	プラザスタッフ6名、理事2名、事務局スタッフ2名
2月2日	質疑応答	事務局スタッフ2名、理事1名

### 事業成果 ▶

みやぎ NPO 事務支援センターリーフレットの刷新を行った。申し込みまでの必要情報や会計の書籍販売案内を加え、事業内容を図解し、問合せがしやすくなるようにした。

新規の依頼受付時、Zoom による 1 時間の無料相談を設けた。ヒアリングシートを作成し、情報の整理、方向性の共通認識を図り、体制を強化した。

また、職員の会計スキル向上と会計サポーターの対応力強化を目的に、(株)エス・ビジネスサポート(桜井康博公認会計士)との連携を開始した。会計に関する勉強会や、メールでの相談対応により、会計の専門家としての知見を得て団体の会計支援強化につなげている。

## (2) 講師等の派遣

行政や NPO 等からの依頼により、ボランティアや市民活動、NPO 等に関する講演・研修などの講師を派遣する。

### 目的 ▶

支援組織や会計サポーターとしての視点から、それぞれの経験や知識に基づいた講演・研修を行い、参加者の課題解決や組織力の向上を図る。

### 活動実績 ▶

月日	派遣先
4月15日	みやぎNPOプラザ「決算書作成講座」 講師
5月28日	みやぎNPOプラザ「会計初級講座」 講師
6月25日	仙台南健康友の会 講師

8月23日	加美町町民提案型まちづくり事業研修会 講師
8月27日	みやぎNPOプラザ「仕訳集中講座」 講師
10月19日	気仙沼市民活動支援センター「はじめての会計講座 日々の会計編」講師
10月20日	東京都福祉保健財団「東京都ひきこもり支援者研修」 講師
10月23日	みやぎNPOプラザ「基本をしっかり学べる！NPO法人設立講座」 講師
10月25日	加美町町民提案型まちづくり事業研修会 講師
11月16日	気仙沼市民活動支援センター「はじめての会計講座 決算報告編」講師
12月11日	東松島市蔵しっくパーク「市民活動基礎講座」 講師
12月18日	名取市市民活動支援センター「市民活動基礎講座」 講師
1月15日	東松島市蔵しっくパーク「会計初級講座」 講師
1月21日	みやぎNPOプラザ「認定NPO法人申請講座」 講師
3月11日	みやぎNPOプラザ「認定NPO法人申請相談」 相談員
3月21日	みやぎNPOプラザ「認定NPO法人申請相談」 相談員
3月29日	気仙沼市民活動支援センター運営相談 相談員

### 事業成果 ▶

専門知識を持つ講師を様々な研修に派遣したことにより、参加団体の会計や組織運営に幅広く活用してもらうことができた。

### (3) 令和3年度宮城県 NPO 等の絆力を活かした復興支援事業

復興・被災者支援を行う NPO 等が必要とする絆力の強化を図るために、「マッチング・交流事業」部門では、交流会および成果報告会を実施し、「情報収集・提供」部門においては人材育成に関するインタビューとパネルディスカッションを実施する。

#### ① マッチング・交流事業

支援者や他の復興・被災者支援を行う NPO 等との交流・情報交換により顔の見える関係を築く。

#### 目的 ▶

震災復興過程においてコミュニティ支援や課題解決を通じて地域に貢献してきた NPO が、今後さらに協働や団体間での連携した人材育成を推し進める。

#### 活動実績 ▶

石巻地域、気仙沼・南三陸地域の復興・被災者支援活動を行う特定非営利活動法人、ボランティア団体、公益法人、社会福祉法人などを対象とし、自身の成長を振り返り、地域内での連携した人材育成につなげるための交流会「人と組織の成長を考える～地域における連携の可能性～」を実施し、参加者同士の意見交換の促進を行った。

本事業は、一般社団法人気仙沼まちづくり支援センター（気仙沼市）、NPO 法人にじいろクレヨン（石巻市）、認定 NPO 法人地星社（岩沼市）と協働で事業を実施した。

#### ■ 石巻地域交流会

日 時：2022年1月26日(水) 13:30～16:00

場 所：マルホンまきあーとテラス 2階 大研修室

講 師：川田マキコ氏（マジカル・ステップ代表 / キャリアコンサルタント）

参加者：石巻地域の復興・被災者支援に関連する NPO 等 11 団体 13 名、一般参加 4 名。内 6 名はオンライン参加。



- グループワークで自身の成長やスキルを棚卸しする参加者



- 場面に応じて活用できる“ポータブルスキル”について講座を受ける

#### ■ 気仙沼・南三陸地域

日 時：2022年1月31日(月) 13:30～16:00

場 所：宮城県気仙沼合同庁舎 1階 大会議室

講 師：川田 マキコ氏（マジカル・ステップ代表 / キャリアコンサルタント）

参加者：気仙沼・南三陸地域の復興・被災者支援に関連する NPO、行政機関等 8 団体 11 名、一般参加 1 名。内 6 名はオンライン参加。



- 共有することで、自身の強みを見つめ直す



- レクチャー内容をもとに強みを書き出す

#### ■ 絆力成果報告会及び仙台・仙南地域交流会

令和3年度宮城県 NPO 等による絆力を活かした震災復興支援事業の採択団体の1年間の活動と成果を報告する場の準備を行った。

日 時：2022年2月16日(水) 13:00～17:30

場 所：オンライン（Zoom）

参加者：仙台・仙南地域の復興・被災者支援に関連する NPO、行政機関等 26 団体 28 名、  
一般参加 11 名。



● オンラインで交流する参加者

### 事業成果 ▶

石巻、気仙沼・南三陸、仙台・仙南地域の参加者の成長を振り返り、活動において汎用的に使えるスタンス、ポータブルスキル、テクニカルスキルとして整理し、参加者同士で共有することができた。今後の地域における活動の活性化に寄与することができた。

### ② 情報収集・提供事業

復興・被災者支援を行う NPO 等が効果的に復興・被災者支援を行うための情報の収集や提供等を実施することで活動を継続していくために必要となる絆力の強化を図る。

### 目的 ▶

震災から 11 年。地域の課題はいまだ山積しており、継続的な活動が求められている。災害から時間が経つにつれて、人材の確保や育成が新たな課題となる。そこで、人材の確保や育成に特色のある団体の取り組みを紹介することで、課題を有する団体の参考となることを目的とする。

### 活動実績 ▶

- 人材育成に関するインタビュー調査の実施
- インタビュー成果報告書「NPO における人材育成の課題と実践～持続可能な団体を目指して～」  
現在も復興支援活動を行っている 10 の NPO、13 名のリーダーや新たに活動始めたスタッフへのインタビューを通して、人材育成で重視していることや、育成されている環境についてのヒントを紹介する冊子を作成した。
- パネルディスカッション「NPO における人材育成の課題と実践」

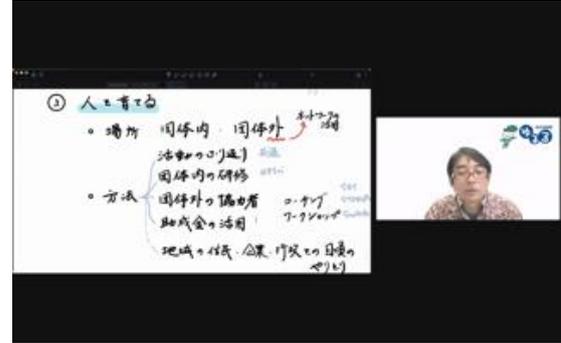
日時 : 2022年2月16日(水) 10:00~12:00

場所 : Zoom ウェビナー

パネリスト : 川田 マキコ氏 (マジカル・ステップ代表 / キャリアコンサルタント)、三井 俊介氏 (NPO 法人 SET 理事長)、斉藤 祐輔氏 (認定 NPO 法人底上げ副理事長)



- 各パネリストの活動経験と知見を基に意見交換を行った



- 人材育成に関するインタビュー調査の分析と報告

#### 事業成果 ▶

次世代を担う後任育成の必要性や、活動に参加するメンバーの想いや背景の多様化など、震災後から継続的に活動を行ってきた団体の現状と人材育成の取り組みについて話を伺うことができた。そこで見えた団体が抱える共通の課題と人材育成の事例を情報発信することで、県内外の団体に活用してもらうことができた。

## 4. 協働する ～拠点運営支援事業～

### (1) 宮城県民間非営利活動プラザ (みやぎ NPO プラザ) の管理運営

平成 17 年 4 月から指定管理者として運営している、宮城県内の NPO 活動を総合的に推進するための中核機能拠点「みやぎ NPO プラザ」は、平成 31 年 4 月から 3 年間 (5 期目) の指定管理者に選定され、引き続き管理運営を担っている。

#### 目的 ▶

宮城県の民間非営利活動を促進するための条例第 9 条の規定に基づいた「宮城県民間非営利活動促進基本計画」を尊重し、宮城の NPO 活動促進中核機能拠点として、機能充実を図る。

#### 活動実績 ▶

令和 3 年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止に留意しながら運営した。宮城県のまん延防止等重点措置や緊急事態宣言の発令期間は、県の方針により施

設の一部を休止した。コロナ感染拡大以降、使用定員を通常の半数としていた会議室等は、状況が落ち着いた12月に制限を解除した。

ウェブ会議システム「Zoom」の活用にも力を入れた。県域支援の観点からも、場所を選ばず参加できるオンラインは、今後もその利点を生かして積極的に活用していきたい。

また、NPOや市民活動団体には、コロナ禍で生じた課題解決の期待が強く寄せられている。このため、NPOの信頼性を高めるために団体の情報公開を促進するための支援や、次世代のNPO・市民活動の担い手創出に関する取り組み、組織基盤の強化に結び付く事業を展開した。

① 会議室及び事務用品等の貸し出し

■ 施設利用状況

	施設見学	ヒアリング	交流サロン	電話問合せ	情報収集・提供	案内・問合せ	会議室申込		閲覧・鑑賞等	会議室使用	NPO相談	パソコン利用	作業室	チラシ等依頼	事務ブース利用	ショップ利用	レストラン利用	計
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	電話	来館	人数	人数	人数	人数	人数	件数	人数	人数	人数	人数
R3合計	25	15	4,937	1,977	1,773	1,473	349	683	4	6,713	591	977	2,019	1,371	648	4,253	9,409	37,217
R2合計	30	1	5,605	1,813	1,206	1,052	308	562	0	5,761	448	786	1,308	1,204	895	847	2,960	24,786

■ 会議室利用状況

	第1会議室			第2会議室(全面)			第2会議室(分割)			第3会議室			研修室			合計		
	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間
R3合計	271	2,850	1,080	222	1,711	679	80	269	258	103	408	309	266	1,475	835	942	6,713	3,161
R2合計	228	2,826	902	129	1,538	435	38	173	114	47	218	126	186	1,006	535	628	5,761	2,112

■ コピー機・印刷機

	コピー機				印刷機				
	モノクロ(枚)	カラー(枚)	合計(枚)	トナー(本)	利用件数(件)	製版数(枚)	印刷枚数(枚)	インク(本)	マスター(本)
R3合計	6,214	368	6,582	1	455	2,484	575,754	36	11
R2合計	4,196	230	4,426	0	398	1,871	565,551	29	9

■ 事務ブース・常設ショップ・レストラン使用団体への支援

事務室や常設ショップ、レストランの利用団体が入居期間中に力をつけていけるよう、施設の使用報告書や利用者懇談会等で活動状況を把握し、課題解決のアドバイスをしたほか、専門相談や講座参加につなげた。

■ 施設見学および運営ヒアリング

9件25名の施設見学に対応し、みやぎNPOプラザの機能を紹介した。

■ 事務室等使用団体選考審査会

令和3年6月、10月、令和4年2月に事務室の使用団体を公募し、選考審査会において

決定した。

② インターネット情報サイト（みやぎ NPO 情報ネット）運用業務

コロナ禍の新しい生活様式が浸透し、感染に注意しながら活動を再開する NPO が増えている。そのサポートのため、NPO が主催するイベントやボランティア・有給スタッフの募集情報の収集と発信に力を入れた。また、NPO も活用できるコロナ支援策や助成金情報等の収集と掲載に力を入れた。みやぎ NPO プラザ主催の講座や無料専門相談会等のページ、短期ショップの出店情報も随時作成更新し、タイムリーな情報発信に努めた。

■ みやぎ NPO 情報ネット更新件数

	訪問者数	ページビュー数	トップページアクセス数	新規データアップ				情報の変更・取り下げ	TOP 変更・更新	企画事業	相談	団体検索登録	宮城県推進班	国・宮城県・市町村	その他更新	合計	管理日数	バックアップ回数
				ゆるる提供	情報ネット	プラザ窓口	助成金											
R3合計	264,484	385,475	20,989	16	764	673	513	2,761	193	114	20	9	14	4	185	5,266	479	60
R2合計	228,680	335,823	21,450	26	689	546	518	2,766	248	118	27	7	14	5	225	5,189	319	60

■ みやぎ NPO 情報ネットメールマガジン掲載件数（毎月 1 日発行）

※R3 登録者数：R2 年度末時点の総登録者数 918 名 + R3 年登録増加数 33 名 = 951 名

	NPO 支援情報 (トピックス)	プラザからのお知らせ	助成金情報	NPO法人 認証情報	その他	合計
R3合計	29	119	313	21	0	482
R2合計	41	98	309	20	0	468

■ みやぎ NPO プラザブログ～をむすび日記～掲載件

	新規エントリー数							合計
	情報チーム 日誌	NPOプラザの 近況	全館イベント	助成金情報	NPO法人 認証情報	講座レポート	ボランティア促進 キャンペーン	
R3合計	32	90	17	88	9	16	14	266
R2合計	42	110	5	135	9	14	-	315

■ みやぎ NPO プラザ SNS

みやぎ NPO プラザの日常の様子や実施講座の告知、ブログの更新状況を拡散する手段として活用した。Facebook は年間 436 件、11 月に開始した Twitter では 13 件発信した。

③ みやぎ NPO プラザの情報誌編集・発行業務

■ One to One 発行

発行日 : 年 6 回 奇数月の 1 日

発行部数 : 6,000 部

仕様 : A4 版 8 頁 フルカラー

主な配布先 : 県内各市町村、県地方振興事務所、県内 NPO 支援施設、プラザ運営評議委員、県内の公共施設、仙台市市民センター、県外の NPO 支援施設・団体等

④ NPO の促進・団体の育成等に関する相談業務

■ 専門相談

会計・税務相談 : 20 件 (年 6 回)

認定 NPO 法人申請相談 : 2 件 (随時)

商品・サービス開発・ブランディング相談 : 3 件 (年 1 回)

オンライン活用事業相談 : 3 件 (年 1 回)

法人設立・団体運営相談 : 63 件 (毎週水曜日)

※1 団体 1 時間、商品・サービス開発・ブランディング相談、オンライン活用事業相談は 1 回 1,000 円

■ 窓口相談

窓口や電話での相談は 424 件あり、随時スタッフが対応した。相談内容は、運営や会計に関する内容の他、NPO 法人申請に関する相談も依然として多い。専門性が高いものは専門相談につながりなどし、正確な情報を伝えるように心がけた。

⑤ NPO の促進・団体内の育成等に関する業務

■ NPO 運営のためのマネジメント講座

NPO の運営一般や、コロナ禍での活動に役立つ講座を 6 講座開催した。コロナ感染の動向を注視しながら、オンラインも取り入れて実施した。

講座名	講師名	日時	人数
新型コロナ対策オンライン講座～感染しない・させない市民活動のすすめ方～(オンライン)	残間由美子さん (NPO 法人みやぎ感染予防教育推進ネットワーク きれいな手理事長)	5 月 26 日 (水) 14:00~16:00	41
一体感を生む極意を学ぶ! NPO のためのオンラインコミュニケーション講座 (オンライン)	坂本郷子さん (NPO 法人コモンビート)	7 月 28 日 (木) 14:00~16:00	19
助成金申請のコツ講座 (オンライン)	渡邊桂子さん (准認定ファンドレイザー、NPO 法人フレーム・ラボ代表理事)	9 月 7 日 (金) 14:00~16:00	20
NPO 法人設立講座	堀川晴代 (みやぎ NPO プラザ館長)	10 月 23 日 (土) 14:00~16:00	18
認定 NPO 法人申請講座	渡邊桂子さん (認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるる理事)	1 月 24 日 (金) 14:00~16:00	14
NPO のための総会運営講座 (オンライン)	加藤彰子さん (NPO 法人岡山 NPO センター総務部長、NPO 事務支援センター所長)	3 月 10 日 (木) 14:00~16:00	24

参加者会計 136  
平均 22.7

■ NPO の会計・税務・決算等の講座

NPO の会計・税務に関する講座を 6 講座開催した。令和 2 年 3 月に実施を予定していたものの、職員のコロナ感染のため宮城県の指示により中止した決算書作成講座を 4 月に開催した。

3 月 17 日の決算書作成講座の前日には福島県沖地震が発生した。当日の朝に講師や参加者の安否・出欠確認を行い予定通りに開催したが、地震の影響で受講できないことなどを考慮し、講師の了承を得て講座終了後に録画画像を期間限定で配信した。

講座名	講師名	日時	人数
NPO 法人のための決算書作成講座 (オンライン)	小野恵子さん (会計サポーター)	4 月 15 日 (木) 13:30~16:30	21
NPO・市民活動団体のための会計初級講座 (オンライン)	小野恵子さん (会計サポーター)	5 月 28 日 (金) 13:30~16:00	15
NPO のための“仕訳”集中講座	小野恵子さん (会計サポーター)	8 月 27 日 (金) 13:30~16:30	14
NPO 法人のための税金講座	田中武司さん (税理士)	9 月 15 日 (水) 13:30~16:30	15
正確な会計報告を目指そう！NPO 法人会計基準とは？会計ソフトの選択のポイントは？ (オンライン)	瀧谷和隆さん (税理士)	10 月 27 日 (金) 13:30~16:30	24
NPO 法人のための決算書作成講座 (オンライン)	小野恵子さん (会計サポーター)	3 月 17 日 (木) 13:30~16:30	20

参加者会計 109  
平均 18.2

⑥ NPO に関する行政職員の理解促進事業

行政職員を対象に、NPO を取り巻く環境や基礎的な理解を深めるため、年 1 回開催している。令和 3 年度は初めて会場とオンラインを併用して開催した。

講座名	講師名	日時	人数
行政職員のための NPO 理解講座 (会場・オンライン併用)	石田祐さん (宮城大学事業構想学 群教授、認定 NPO 法人杜の伝言 板ゆるる代表理事)	7 月 9 日 (金) 14:00~16:00	44

⑦ NPO 支援施設および中間支援組織の育成支援事業

宮城県内の NPO 支援施設や支援組織のスタッフを対象に、NPO 支援に必要なスキルを学び、情報交換し共有することで、宮城の NPO 支援力を高める機会を提供した。

■ NPO 支援センター研修

講座名	ゲスト名	日時	人数
with コロナ時代の市民活動支援に求められるチカラ (オンライン)	阿部 剛氏さん (NPO 法人 CR フ ァクトリー理事、まつど市民活動 サポートセンターセンター長)	12 月 16 日 (木) 14:00~16:30	21

⑧ 連携および交流促進事業

みやぎ NPO プラザは令和 3 年度に開館 20 年の節目を迎えた。これを記念し、20 周年記念フォーラムを開催した。

講座名	講師名	日時	人数
みやぎ NPO プラザ 20 周年記念フォーラム ～これまでの 20 年とこれからの歩み～	<b>【講演講師】</b> 山岡義典さん (NPO 法人市民社会創造ファンド理事長、 NPO 法人日本 NPO センター顧問) <b>【ゲスト】</b> 土佐昭一郎さん (NPO 法人ミヤギユースセンター理事長) 大久保朝江さん (認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるる顧問) 矢部寛明さん (認定 NPO 法人底上げ理事長)	12 月 5 日 (日) 13 : 30～16 : 30	74



- 多様な世代の参加があり、登壇者と活発な意見が交わされた。

⑨ ボランティア育成事業

■ ボランティア促進キャンペーン

コロナ禍において人材不足に悩む NPO のボランティア募集情報の発信力強化をサポートし、みやぎ NPO 情報ネット等で拡散することで、市民参画を促進する。

イベント名	スケジュール	募集情報の掲載申込数	人数
2021 SUMMER/AUTUMN ! ボランティア促進キャンペーン ～「NPO」と「あなた」をつなぐ～	・ボランティア募集情報受付期間： 7月下旬～9月30日 ・ボランティア募集情報公開期間： 7月下旬～10月31日 ・ボランティア活動期間： 8月1日～10月31日	・既存の情報掲載団体： 3団体4件 ・新規の情報掲載団体： 5団体5件	23

■ 市民活動サロン

これまで市民活動と関わりのなかった市民を対象に、市民活動とは何か、NPO とはどのような組織かを知ってもらい、市民活動や NPO への理解を促し、支援者・実践者として市民活動へ参画してもらう入口とする。

イベント名	ゲスト名	日時	人数
市民活動オンライントークサロン 美味しく楽しく社会貢献活動！ (オンライン)	菊田俊彦さん (NPO 法人ほっぷの森常務理事)	2 月 26 日 (土) 17:00～18 : 30	10

⑩ みやぎ NPO プラザ運営評議会の開催

宮城県民間非営利活動プラザ運営評議会設置要綱に基づき、年 2 回開催した。

第 1 回：6 月 2 日（水）14：00～16：00 ※オンライン併用開催

第 2 回：2 月 4 日（金）10：00～12：00 ※オンライン併用開催

⑪ その他、施設の設置目的を達成するための企画業務

■ 利用者懇談会の開催

みやぎ NPO プラザのよりよい活用を検討するため、日頃から使用している団体との意見交換および利用団体間の情報交換の場として開催した。

第 1 回：8 月 5 日（木）14：30～16：30

第 2 回：3 月 4 日（金）14：30～16：00

事業成果 ▶

- コロナ禍での県内の NPO の取り組みやオンラインを活用した事業展開のポイントを情報誌やみやぎ NPO 情報ネットで発信した。また、コロナ禍での活動や組織運営に活かせるテーマを講座内容に取り上げた他、専門相談や窓口相談で随時対応した。
- コロナ禍による施設の利用者数の減少は回復傾向にある。全館で Wi-Fi が使用できることの周知を徹底したところ、オンライン配信会場としての利用が増えている。
- 講座やイベントは、感染を気にせず地理的に遠方の団体でも参加できるウェブ会議システム Zoom と、対面の会場開催を使い分けて、あるいは併用して実施できた。
- 開館 20 周年を記念し、会場とオンラインを併用してフォーラムを開催した。これまでプラザを利用したことのない層の参加もあり、多様な主体の交流となり好評を得た。
- 初めてボランティア促進キャンペーンに取り組んだ。ボランティアを必要とする NPO と関心のある市民をつなぐことができた。
- 法人事務局との連携を常に意識し、特に NPO の組織基盤整備に係る事業は、プラザで実施するものに限らず、NPO に広く情報を提供した。

## 5. つなぐ ～NPO 等連携事業～

---

### (1) 真如苑第7回「みやぎの居場所づくり助成」事業の事務局運営

課題を抱える高齢者や障がい児・者、児童、女性、青年などが、その人らしく過ごせるよう、人々を支援するための居場所づくりをする民間団体及びボランティアグループによる活動に助成を行う。総額 150 万円を真如苑が助成し、ゆるるは企画、広報、選考会運営等の事務局を担う。

#### 目的 ▶

宮城県内の団体とつながりを持つ中間支援組織として、様々な NPO が助成金を申請する際の窓口となる。

#### 活動実績 ▶

募集期間 : 4 月～5 月 15 日

応募団体数 : 13 団体

二次審査会 : 2021 年 6 月 4 日

助成団体決定 : 8 団体

#### 事業成果 ▶

二次審査に通過した 8 団体すべてに助成が決定した。障害児支援、発達障害支援、子育て支援、子ども食堂、障がい者芸術活動支援、不登校児童生徒支援、地域コミュニティ活動の事業に助成が行われた。

### (2) 令和3年度 NPO 支援施設フォローアップ事業委託業務（宮城県からの委託事業）

宮城県よりみやぎ NPO プラザの指定管理団体に委託されるもので、令和2年度に引き続き実施した。

#### 目的 ▶

県内全域の NPO 活動を総合的に促進するための中核機能拠点であるみやぎ NPO プラザと県内の各地域の NPO 支援施設との連携を強化し、NPO 支援施設の活動支援及び人材育成を行うとともに、みやぎ NPO プラザと NPO 支援施設との協働事業を実施することで、NPO 支援施設の機能強化と地域の NPO 活動の促進を図る。

#### 活動実績 ▶

##### ① NPO 支援個別訪問調査（ヒアリング）

以下の 12 施設に個別訪問し、各施設の現状や課題を調査し、課題へのアドバイスをを行うとともに、調査結果を取りまとめた。また、富谷市は本事業の対象ではないが、市民活動支

援拠点の整備を検討していることから、訪問して現状や計画を聞き取った。特にコロナ禍での施設運営や事業実施の状況の聴き取りに重点を置いた。

施設名(運営団体名)	訪問日時
仙台市市民活動サポートセンター (NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター)	7月31日(土)15:00~17:00
石巻市NPO支援オフィス (NPO法人いしのまきNPOセンター)	6月12日(土)15:00~17:15
塩竈市協働推進室	9月30日(木)14:00~15:00
気仙沼市民活動支援センター	10月26日(火)14:00~16:00
白石市民活動支援センター (白石市民活動フォーラム)	10月8日(金)14:00~15:30
名取市市民活動支援センター (NPO法人パートナーシップなとり)	6月30日(金)15:00~17:00
多賀城市市民活動サポートセンター (NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター)	9月18日(土)14:00~16:30
岩沼市市民活動サポートセンター	8月12日(木)15:00~17:00
とめ市民活動プラザ (NPO法人とめタウンネット)	9月17日(金)14:00~16:30
栗原市市民活動支援センター (NPO法人Azuma-re)	10月9日(土)14:00~16:30
東松島市蔵しっくパーク (NPO法人東松島まちづくり応援団)	9月29日(水)14:00~16:30
大崎市市民活動サポートセンター (NPO法人宮城マネジメント協会)	7月29日(木)15:00~17:30

※富谷市総務部市民協働課

10月13日(木)14:00~15:30

## ② 人材育成研修の開催

NPO 支援施設の職員を対象に、中間支援施設としての支援力向上を目的とした人材育成研修を1泊2日を実施する予定だった。しかし、1月中旬の新型コロナの急拡大に伴い、宮城県と開催方法の変更を協議し、2月17日(木)にZoomで実施した。

テーマ : 「協働を成功に導くプロセスを学ぶ」

開催日時 : 令和4年2月17日(木) 13:00~17:15

開催方法 : ウェブ会議システム Zoom

内 容 : 講義「多様な主体の協働を成功に導くプロセスとは」

講師 : 早瀬昇氏 (社会福祉法人大阪ボランティア協会理事長)

情報交換「NPO 支援の現状と課題」

参加者 : 28名

## ③ 協働事業の実施

県内のNPO等、中間支援組織、NPO支援施設を対象に、県内のNPO支援施設と協働で対象者のニーズを踏まえた事業を実施した。

### ■ 岩沼市市民活動サポートセンターとの協働事業

事業名 : 「市民活動お役立ち講座 パソコンを使ったチラシ作り講座 part2」

講 師：伊東利光氏（メディアデザイン代表）

日 時：11月19日（金）14：00～16：00

会 場：いわぬま市民交流プラザ会議室

参加者：9名

■ 東松島市蔵しっくパークとの協働事業

事業名：「会計初級講座」

講 師：小野恵子氏（会計サポーター）

日 時：1月15日（土）13:30～15:30

会 場：蔵しっくパークまちづくり研修室

参加者：5名

■ 大崎市市民活動サポートセンターとの協働事業

事業名：「いまさら聞けない非営利団体の会計」

講 師：小野恵子氏（会計サポーター）

日 時：1月25日（火）13:30～15:30

会 場：大崎市市民活動サポートセンター大会議室

参加者：12名

■ 気仙沼市民活動支援センターとの協働事業

事業名：「NPO・市民活動団体のための法人設立・団体運営相談会」

相談員：堀川晴代（みやぎNPOプラザ館長）

富澤まどか（みやぎNPOプラザ運営主任）

日 時：2月24日（木）10：00～14：00

会 場：Zoom 開催（新型コロナウイルス感染症対策のため、気仙沼市役所ワントレン庁舎1階女性プラザでの開催から変更）

参加者：1団体

事業成果 ▶

- 個別訪問調査で聴取した他の支援施設の職員との交流機会が欲しいという意見や、支援についての学びを深めたいという希望については、人材育成事業や協働事業、みやぎNPOプラザ指定管理事業のNPO支援センター研修に取り入れ、それぞれ好評だった。
- 人材育成研修は、日本のNPO支援の第一人者であり、協働推進を牽引してきた早瀬氏を講師に迎えたことが参加者の満足度の高さにつながった。協働が求められる背景から進めるプロセスについて具体例を交えながら理解を深め、最新の協働論についても学ぶことができた。
- 人材育成研修の開催方法をオンラインに変更したことで、地理的に遠方の施設や運営人数の少ない支援施設の職員も参加することができ、多くの方に職員研修の機会を提供した。

- 本年度で協働事業の実施は 3 年目となり、各支援センターから協働事業実施の要請が寄せられるようになった。昨年度までは施設長が協働事業に関わることが多かったが、各施設の現場スタッフが正担当として企画や講師との打合せ、当日運営を担うようになり、スタッフの育成につながった。
- 本事業を通して、県内 NPO 支援施設の職員と顔の見える関係性を築き、日常的に NPO 支援に関する情報交換や相談ができるようになったことも大きな成果である。

### (3) みやぎ NPO 情報公開システム運用協議会事務局業務

2012 年に構築した NPO の検索システム「みやぎ NPO ナビ」のシステム運用協議会の事務局を担当した。

#### 目的 ▶

市民の情報収集と NPO の情報提供の双方の利便性を高めるとともに、NPO の情報公開の促進と信頼性の向上に寄与すること。

#### 活動実績 ▶

構成団体：仙台市、気仙沼市、石巻市、大崎市、名取市

認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるる、NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター、NPO 法人いしのまき NPO センター、NPO 法人パートナーシップなとり

2021 年 7 月 16 日 NPO 情報公開システム運用協議会総会

2021 年 11 月 4 日 NPO 情報公開システム運用協議会運営委員会

#### 事業成果 ▶

市民対して NPO 団体に関する地域性のある情報を提供することができた。

### (4) 令和 3 年度宮城県内における被災者支援コーディネート事業（復興庁事業）

東日本大震災に被災した宮城県全域において、「被災者が一日も早く安定的でより良い日常生活を送ることが出来る」状況の獲得を目指し、復興の主体である被災者や被災者支援に取り組む多様な担い手（自治体・支援組織・企業等）による活動の推進を、総合的に支援することを目的にした事業。

#### 目的 ▶

宮城県域の中間支援組織 4 団体（①認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる、②特定非営利活動法人せんだい・みやぎ NPO センター、③認定特定非営利活動法人地星社、④一般社団法人みやぎ連携復興センター（申請主体））を「事業実施団体」とし、共同による事業実施体制を構築することにより、1 団体では難しい「広域における網羅的な被災者支援コーディネート」を目指す。

**活動実績 ▶**

宮城県内被災沿岸部を4エリアに分け、エリアごとに駐在する「エリアコーディネーター」と「協力団体・機関」（エリアにおける中間支援組織・センター等）を設置し、下記のサポートを行った。

- エリアコーディネーターの巡回訪問による被災地域の社会課題・資源の把握及び整理
- 協働体制構築に向けた各種ミーティングの開催
- 復興・地域づくりレポートの発行と県内外に向けた情報発信

**事業成果 ▶**

気仙沼、南三陸、登米エリアのエリアコーディネーター（1名）が各地を巡回訪問し、地域資源の把握と整理を行うにあたり、協力団体（（一社）気仙沼まちづくり支援センター、気仙沼まち大学運営協議会、（特活）ウィメンズアイ）や社会福祉協議会などをつなぎ、助言をいただきながら情報収集がより円滑に行われるようサポートを行うことが出来た。

協働体制構築に向け、12月8日、3月31日の2回、コーディネーターと協力団体とのミーティングを行い、地域資源や既存の地域ネットワークの整理・共有をすることができた。また今年度事業を報告する復興・地域づくりレポートの発行に向けた協力を行った。

**6. その他の活動**

**(1) NPOの基盤整備に関する書籍類の紹介及び販売**

NPOの理解促進及び運営基盤強化につながる冊子等をNPOに販売する。

**目的 ▶**

NPOへの理解や組織運営に役立つ書籍を販売することにより、NPOの理解促進・運営基盤強化につなげる。

**活動実績 ▶**

冊子名	発行者（団体）
NPO会計基準完全収録版第2版	NPO法人会計基準協議会
会計基準ハンドブック	認定NPO法人NPO会計税務専門家ネットワーク
知っておきたいNPOのこと「基本編」	NPO法人日本NPOセンター
知っておきたいNPOのこと「資金編」	NPO法人日本NPOセンター
知っておきたいNPOのこと3「協働編」	NPO法人日本NPOセンター
知っておきたいNPOのこと4「参加編」	NPO法人日本NPOセンター
知っておきたいNPOのこと5「評価編」	NPO法人日本NPOセンター
NPO法人のための業務チェックリスト	認定NPO法人NPO会計税務専門家ネットワーク
NPO会計日誌	NPO支援東京会議
会計ソフト「会計王」NPO法人スタイル	ソリマチ株式会社
「Q & A NPO会計マニュアル」	認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

**事業成果 ▶**

今年度も継続して県内外の多様な NPO へ書籍を販売することができた。

**(2) 宮城県 NPO 等による心の復興支援事業（受益者アンケート業務委託）**

今年度、本事業を活用して行われている復興・被災者支援の活動について、活動を通じて支援を受けられた方（受益者）を対象としたアンケートを実施し、受益者の方々が支援を受けられたことによる効果等を把握する。

**目的 ▶**

NPO 等の復興・被災者支援の活動が今後も継続されるよう、NPO 等の復興・被災者支援の活動に関する効果を把握する。

**活動実績 ▶**

県からの指定フォーマットへの入力作業及び分析を行った。

事業期間：2021 年 11 月 30 日～2022 年 3 月 25 日

アンケート回収団体：27 団体（総数 489 枚）

**事業成果 ▶**

地域に根ざした NPO 等の支援を通して受益者同士の交流が生まれ、それが生きがいや自己肯定感に繋がっており、今後も活動が必要とされている現状が見られた。

**(3) 外部との連携**

自治体、他の NPO、企業等と連携して活動を行う。

**目的 ▶**

団体外の様々な組織等と連携することで関係を構築し、地域全体でのより活発な活動につなげる。

**活動実績 ▶**

① 審議会・委員会等の委員

行政や民間の審議会や委員会、評議会などの委員として市民活動・NPO の立場から提言した。

- 国：東北行政評価局会議行政に関する懇談会 12/15（石田）
- 宮城県防災会議委員（石田）
- 令和 3 年度宮城県障害者芸術文化活動支援業務協力委員会協力委員 11/15（堀川）
- 宮城県民間非営利活動促進委員会委員 8/10、3/22（堀川）
- 宮城県共同募金会「県域助成あり方検討委員会」委員 3/15（堀川）

② 助成金等審査委員

- 加美町町民提案型まちづくり事業審査委員会 11/20（堀川）
- 宮城県共同募金会参加と行動による新たな地域共生社会づくり支援事業審査会 2/17（堀川）

③ 日本 NPO センター関連

市民セクター全国会議 2021「変容する社会と市民活動の広がり」宮城・仙台実行委員会に参加し、運営に携わった。

開催日：2021年11月26日（金）、27日（土）

開催場所：仙台フォーラス even

実行委員会参加団体：NPO 法人エイブル・アート・ジャパン、NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター、NPO 法人杜の伝言板ゆるる

④ 河北新報社 かほく「108」との連携

河北新報社とその関連 12 社で作るかほく「108」クラブの助成金『かほく「108」ファン ド』の NPO への広報協力や、選考審査委員としてサポートした。また、「NPO で高校生の夏ボラ体験」プログラムでは共催団体として資金支援を受けている。

⑤ 会員として連携

- NPO 法人いしのまき NPO センター
- NPO 法人会計基準協議会
- NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター
- NPO 法人日本 NPO センター
- NPO 法人パートナーシップなとり
- NPO 法人とめ市民活動フォーラム
- 仙台市社会福祉協議会

**事業成果 ▶**

イベントの実施や、委員会への派遣など多様なセクターと協力し、事業を進めることができた。オンライン環境が以前より整ったことで、場所に制約なく連携ができた。

### Ⅲ 組織運営

#### (1) 総会の開催

2021 年度通常総会を開催

開催日時：2021 年 5 月 23 日（日）14：00～16：00

場 所：みやぎ NPO プラザ

議 案：第 1 号議案 2020 年度事業報告及び決算の承認

第 2 号議案 2021 年度事業計画（案）及び予算（案）の審議及び議決

#### (2) 理事会の開催

回数	実施日	議題
第180回	4月28日	2020年度決算、2021年度事業計画等
第181回	5月23日	総会運営、NPOで高校生の夏ボラ体験等
第182回	6月21日	事務局運営体制、求人等
第183回	7月21日	みやぎNPOプラザ指定管理申請、事務局運営体制等
第184回	8月30日	みやぎNPOプラザ指定管理申請、NPOで高校生の夏ボラ体験、講師派遣事業等
第185回	9月27日	宮城県NPO等の絆力を活かした復興支援事業、みやぎNPO事務支援センターの運営、みやぎNPOプラザ指定管理申請等
第186回	11月16日	宮城県NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業、みやぎNPO事務支援センターの運営、改正電子帳簿保存法への対応等
第187回	12月10日	宮城県NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業、みやぎNPO事務支援センターの運営
第188回	1月21日	宮城県NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業等
第189回	2月25日	2021年度職員の期末手当、2022年度総会等
第190回	3月23日	2022年度職員報酬、2022年度総会等

#### (3) 会議

##### ① 事務局スタッフ及びみやぎ NPO プラザスタッフ合同ミーティング

毎月第 1 月曜日に開催（年始・連休時を除く）し、今年度は全 12 回開催。

開催日：4 月 5 日、5 月 10 日、6 月 7 日、7 月 5 日、8 月 2 日、9 月 6 日、10 月 4 日、11 月 1 日、12 月 6 日、1 月 10 日、2 月 7 日、3 月 7 日

##### ② その他

編集会議、事務局会議、みやぎ NPO プラザ管理職ミーティングを随時開催。

(4) 会員

正会員：30 団体・個人

賛助会員：57 団体・個人 (2022年3月31日現在)

(5) 組織の広報及び理解促進

① ホームページや SNS を活用した情報発信

情報発信については、杜の伝言板ゆるるのホームページ (<http://www.yururu.com/>) 及び Facebook を活用し、組織の情報公開を進めた。

ホームページ / お知らせ 15件 Facebook 投稿 103件

(6) 事務局員体制 (2022年3月31日現在)

① 杜の伝言板ゆるる事務局 (宮城野区榴岡 3-11-6 コーポラス島田 B-6)

総務および事業運営職員 : 1名

情報発信および事業運営職員 : 1名

② みやぎ NPO プラザ勤務 (宮城野区榴ヶ岡 5)

館長 : 1名

運営主任 : 2名

運営職員 : 4名

非常勤職員 : 2名

(7) 職員研修

研修日	研修名	研修場所	主催団体	参加者数
4月22日	NPOの法務・税務・登記と電子化	オンライン	NPOのための弁護士ネットワーク	1名
4月23日	NPO支援財団研究会2021WEBシンポジウム「ポスト・コロナ時代にに向けた助成財団とNPOのパートナーシップを考える」	オンライン	NPO支援財団研究会	1名
5月19日	離れていてもチームビルディングができる！オンラインコミュニケーション講座 (応用編)	オンライン	NPO法人コモンビート	1名
5月25日	自分とチームと社会がつながる、ソーシャルセクターの仕事観をみがく「若手・中堅スタッフ研修」～自分を客観視する～	オンライン	NPO法人NPOサポートセンター	1名
5月26日	とうほくNPOフォーラムin南相馬2021「復興の先を見据えて変化する社会にNPOはどう対応するのか」	オンライン	とうほくNPOフォーラムin南相馬2020実行委員会	1名
6月10日	自分とチームと社会がつながる、ソーシャルセクターの仕事観をみがく「若手・中堅スタッフ研修」～目標に向けて自分を磨く～	オンライン	NPO法人NPOサポートセンター	1名
6月19日	日本NPO学会第23回研究大会公開セッション「みやぎボイス連携セッション」	オンライン	日本NPO学会	1名
6月19日	日本NPO学会第23回研究大会公開シンポジウム「非営利セクターの現在地」	オンライン	日本NPO学会	1名
6月25日	NPOと行政の対話を促進するための基礎講座「NPOと行政の共同のあり方を知る」	オンライン	認定NPO法人日本NPOセンター	1名
6月25日	令和3年度ボランティア・市民活動ネットワーク会議「参加者が元気になる“楽しい会議”のテクニックを学ぼう」(第1回)	仙台市福祉プラザ	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会仙台市ボランティアセンター	1名
7月9日	令和3年度行政職員のためのNPO理解講座	みやぎNPOプラザ	宮城県 (みやぎNPOプラザ)	1名

7月14日	NPO/NGOの組織基盤強化を考える4日間～社会変革を生み出せる組織へ～「プロボノのススメ～NPO/NGOの組織基盤強化に企業人の力を役立てる～」	オンライン	パナソニック株式会社	1名
7月15日	NPO/NGOの組織基盤強化を考える4日間～社会変革を生み出せる組織へ～「組織基盤強化の支援を効果的に行うには～支え手の手法と心構え～」	オンライン	パナソニック株式会社	1名
7月20日	令和3年度ボランティアコーディネーター研修「オンライン会議を活用して地域活動の活性化に繋げよう～ICTを活用したファシリテーションについて学ぶ」	オンライン	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会みやぎボランティア総合センター	1名
7月27日	令和3年度ボランティア・市民活動ネットワーク会議「参加者が元気になる“楽しい会議”のテクニックを学ぼう」(第2回)	仙台市福祉プラザ	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会仙台市ボランティアセンター	1名
7月28日	一体感を学ぶ極意を学ぶ！NPOのためのオンラインコミュニケーション講座	オンライン	宮城県(みやぎNPOプラザ)	2名
8月20日	「知らせるカプロジェクト」書き手講座2021 第1回	オンライン	Yahoo!基金	1名
8月24日	令和3年度ボランティアコーディネーター研修「地域活動者やボランティアの思いを最大限に引き出すコーディネートの秘訣」	オンライン	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会みやぎボランティア総合センター	1名
8月27日	NPOのための“仕訳”集中講座	みやぎNPOプラザ	宮城県(みやぎNPOプラザ)	1名
9月3日	日本NPO学会ウェビナー休眠預金活用事業の現状と課題	オンライン	日本NPO学会	1名
9月7日	助成金申請のコツ講座	オンライン	宮城県(みやぎNPOプラザ)	1名
9月10日	WEBシンポジウム「秋の助成金応募シーズン到来～プログラムの狙いを理解して提案力を高めよう」	オンライン	NPO支援財団研究会	1名
9月10日	「知らせるカプロジェクト」書き手講座2021 第2回	オンライン	Yahoo!基金	1名
9月15日	NPO法人のための税金講座	みやぎNPOプラザ	宮城県(みやぎNPOプラザ)	2名
10月12日	令和3年度ボランティアコーディネーター研修「コロナ禍におけるコーディネーションの意義やファンドレイジングについて学ぶ」	オンライン	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会みやぎボランティア総合センター	1名
10月20日	広報能力及び情報発信能力の向上「信頼される団体となるための広報とは」	オンライン	公益財団法人東京都福祉保健財団	3名
10月27日	正確な会計報告を目指そう！～NPO法人会計基準とは？会計ソフト選択のポイントとは？～	オンライン	宮城県(みやぎNPOプラザ)	1名
10月29日	NPO法人に求められるデジタル手続きを考える(2022年に向けて)	オンライン	認定NPO法人日本NPOセンター NPO法人NPOサポートセンター	1名
11月2日	会計初級講座	みやぎNPOプラザ	認定NPO法人の伝言板ゆるる	2名
11月23日	日本NPOセンター25thアニバーサリー「未来へのメッセージ&シンポジウム」	オンライン	認定NPO法人日本NPOセンター	1名
11月26日	ファン形成における効果的な情報発信～様々な手段・手法を学ぶ～	オンライン	一般社団法人みちのく復興・地域デザインセンター	1名
11月26/27日	市民セクター全国会議2021「変容する社会と市民活動のつながり」	even(仙台フォーラス)	市民セクター全国会議2021実行委員会 認定NPO法人日本NPOセンター	3名
11月30日	東日本大震災で育まれたレジリエンス～受け継がれるパトーン	オンライン	一般社団法人みちのく復興・地域デザインセンター	1名
12月6日	ゆるるスタッフ研修「決算書類の読み方講座」	みやぎNPOプラザ	認定NPO法人の伝言板ゆるる	9名
12月11日	日本ファンドレイジング協会5周年記念フォーラム「東北に鶴尾来たる！最先端のファンドレイジングを学ぶ～コロナ禍における東北の取組み事例と交流～」	オンライン	日本ファンドレイジング協会東北チャプター	2名
12月15日	普通救命講習I	文化財課分室	文化財課分室	2名
12月16日	NPO支援センター研修「withコロナ時代の市民活動支援に求められるチカラ」	オンライン	宮城県(みやぎNPOプラザ)	4名
12月17日	NPO向けプロに学ぶ『伝わる』活動紹介動画の作り方講座	オンライン	ヤフー株式会社社会貢献ユニット	1名
1月21日	NPO会計サポート・コミュニティ～あるべき会計サポート～	オンライン	NPO法人会計基準協議会	1名
1月21日	認定NPO法人申請講座	オンライン	宮城県(みやぎNPOプラザ)	1名
1月26日	外部の力を活かして取り組む組織基盤強化	オンライン	株式会社パナソニック 認定NPO法人日本NPOセンター	1名
2月9日	NPO向け「情報発信」オンライン講座～寄付の集め方～	オンライン	ヤフー株式会社社会貢献ユニット	1名
2月16日	令和3年度宮城県NPO等の絆力を活かした復興支援事業(情報収集・提供事業)NPOにおける人材育成の課題と実践	オンライン	宮城県	1名

2月16日	令和3年度宮城県NPO等の絆力を活かした復興支援事業 (交流・マッチング)人と組織の成長を考える～地域における連携の可能性～	オンライン	宮城県	1名
2月17日	令和3年度宮城県NPO支援施設フォローアップ事業人材育成研修「協働を成功に導くプロセスを学ぶ」	オンライン	宮城県(みやぎNPOプラザ)	1名
2月19日	ファンドレイジング・日本2022	オンライン	認定NPO法人日本ファンドレイジング協会	1名
3月10日	NPOのための総会運営講座	オンライン	宮城県(みやぎNPOプラザ)	4名
3月11日	改正個人情報保護法研修会	オンライン	NPO法人セイエン	1名
3月17日	NPO法人のための決算書作成講座	オンライン	宮城県(みやぎNPOプラザ)	1名
3月24日	令和3年度宮城県プロボノ普及啓発セミナー 社会の未来を共につくる～プロボノで見つけたもうひとつの居場所～	オンライン	宮城県	3名
3月25日	NPO会計サポート・コミュニティ～あるべき会計サポートを語り合おう～	オンライン	NPO法人会計基準協議会	1名
3月30日	みやぎ災害対応円卓会議(みやまる)勉強会	オンライン	みやぎ災害対応円卓会議	2名

(8) ボランティア

	事務局	One to One	みやぎNPOプラザ		
			データ入力	事務サポート	NPOフォーラム
時間	20	28	28	0	4
人数	11	14	9	0	1

※のべ総時間数：80時間／のべ総人数：35名

(9) 寄付

9個人/団体からの寄付を合わせて215,248円の寄付を頂いた。この中には、イオン仙台店のイエローシートキャンペーンで75,000円のギフトカードが含まれている。また、現金以外(切手等)による寄付を14,200円分いただいた。寄付金等は夏ボラ体験の活動をはじめ、季刊ゆるるの発行などに使用した。